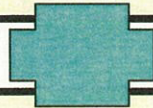


近年の大学病院を巡る厳しい状況

① 待遇の低さによる若手医師等の大学病院離れ

《大学病院における研修医の減少》

- ・研修医在籍率 : 平成15年度73%⇒平成19年度45%
- ・研修の不満な点: 雑用の多さ、待遇・処遇の悪さ



② 平成18年度診療報酬のマイナス改定(▲3.16%)



③ 教育・研究・診療機能のバランス維持が困難に



④ 医師派遣機能の低下、大学に残る医師の負担増

大学病院の機能を発揮できない状況